



ローカル10,000プロジェクト 講演会 & 相談会

地元自治体の取り組み事例

香川県 小豆島町



小豆島町

SHODOSHIMA-TOWN



人口…**12,419人**
(令和8年1月1日現在)

面積…**95.59km²**

名勝 寒霞溪

瀬戸内海国立公園指定90周年を迎えた日本有数の景勝地です。約1300万年の地殻変動と長い年月の浸食により形成された奇岩や断崖が連なり、雄大な溪谷美を生み出しています。

春は新緑、夏は深い緑、秋は全国屈指の紅葉、冬は澄んだ空気に包まれ、四季折々に異なる表情を楽しめます。ロープウェイから眺める瀬戸内海と山々の大パノラマも魅力で、多くの観光客を魅了し続けています。



道の駅 オリーブ公園

瀬戸内海を望む丘陵地に広がる、オリーブと自然に親しめる観光拠点です。白い風車や地中海風の建物が並び、映画のロケ地としても知られ、写真スポットとして人気を集めています。園内ではオリーブの栽培や歴史を学べるほか、特産品の販売、カフェや体験メニューも充実。四季折々の花や景色を楽しみながら、家族連れから観光客まで幅広く楽しめる施設です。



中山千枚田

山あいの斜面に約800枚の棚田が広がる、日本の原風景を感じられる景勝地です。石積みの棚田が幾重にも連なり、季節や時間帯によって表情を変える美しい景観が訪れる人々を魅了します。春は水張りの水鏡、夏は青々とした稲、秋は黄金色の稲穂と収穫風景、冬は静寂に包まれた田園風景が楽しめます。地元住民による保全活動も盛んで、自然と人の営みが調和した貴重な文化的景観として大切に守られています。



小豆島は「持続可能な観光」を推進しています



地域の「社会」「環境」「文化」「住民」のそれぞれに配慮した「**持続可能な観光地**」を目指しています。その過程で、持続可能な観光の国際認証にも挑戦し、2021年、2022年と2年連続で「**世界の持続可能な観光地TOP100選**」に選出され、さらに2024年9月には、小豆島として、持続可能な観光地の国際表彰「**グリーン・デスティネーションズアワード**」にてシルバーアワードを受賞、2025年10月には国連世界観光機関の「**ベスト・ツーリズム・ビレッジ**」に認定されました。



Shodoshima, Japan

Officially recognized as a Best Tourism Village by UN Tourism in (2025)

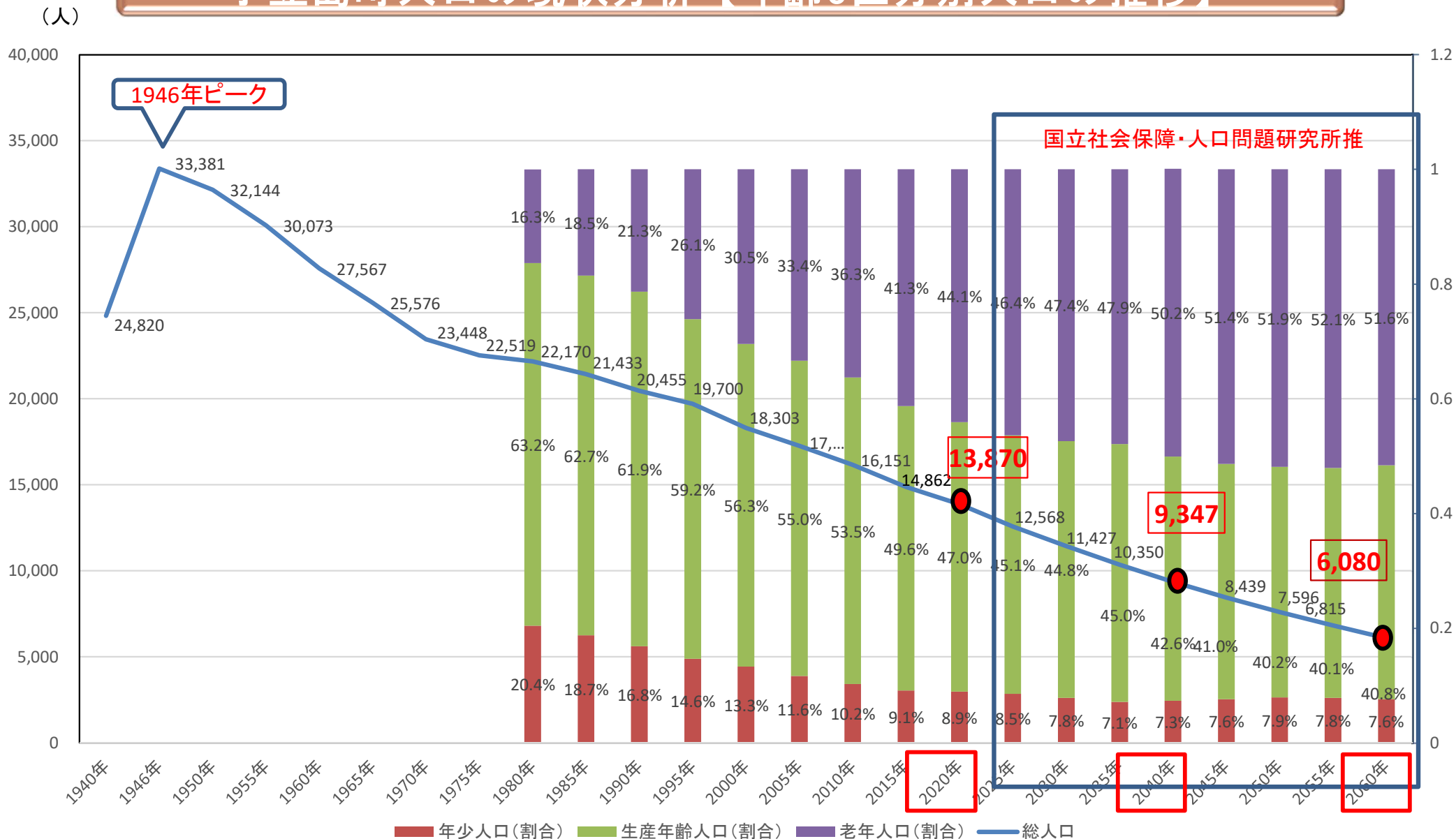


第3期小豆島町の人口ビジョン

日 時：令和7年3月28日（金）

場 所：小豆島町役場本館3F 大会議室

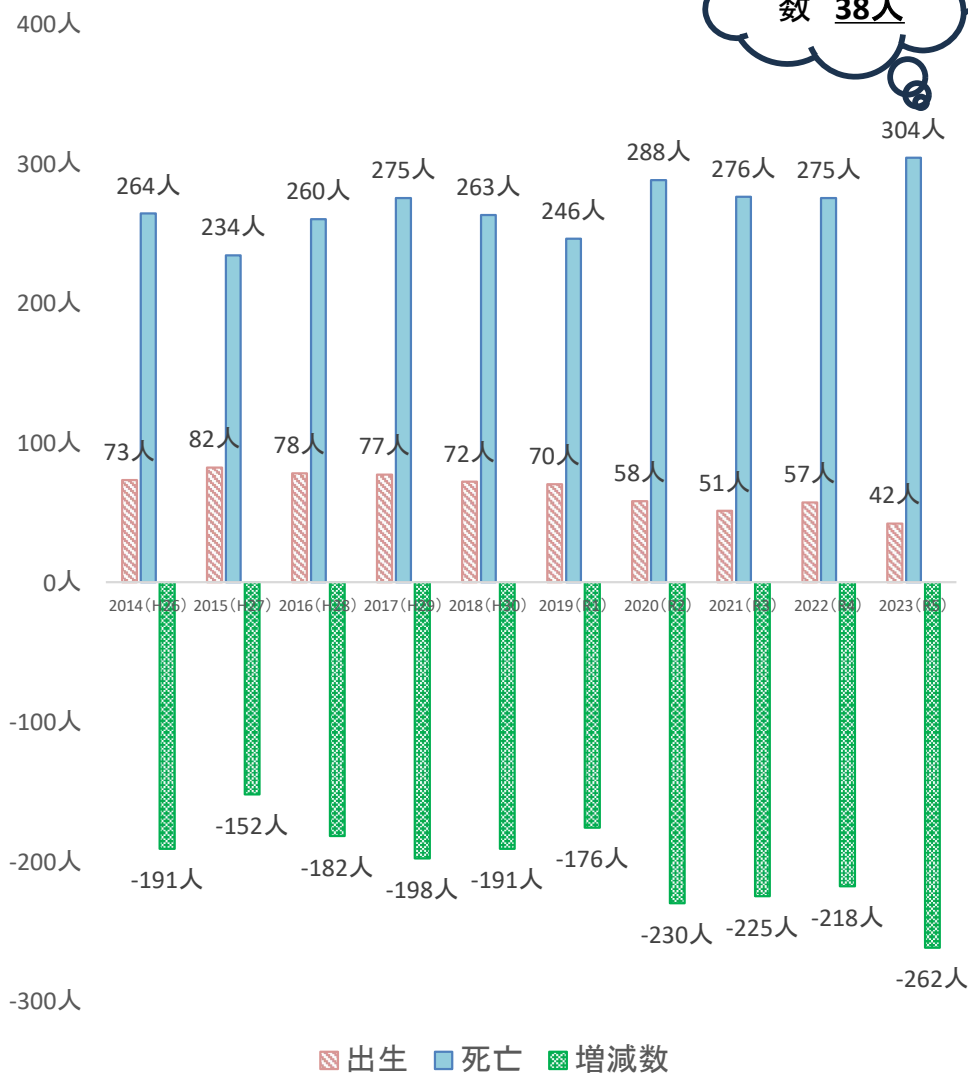
小豆島町人口の現状分析【年齢3区分別人口の推移】



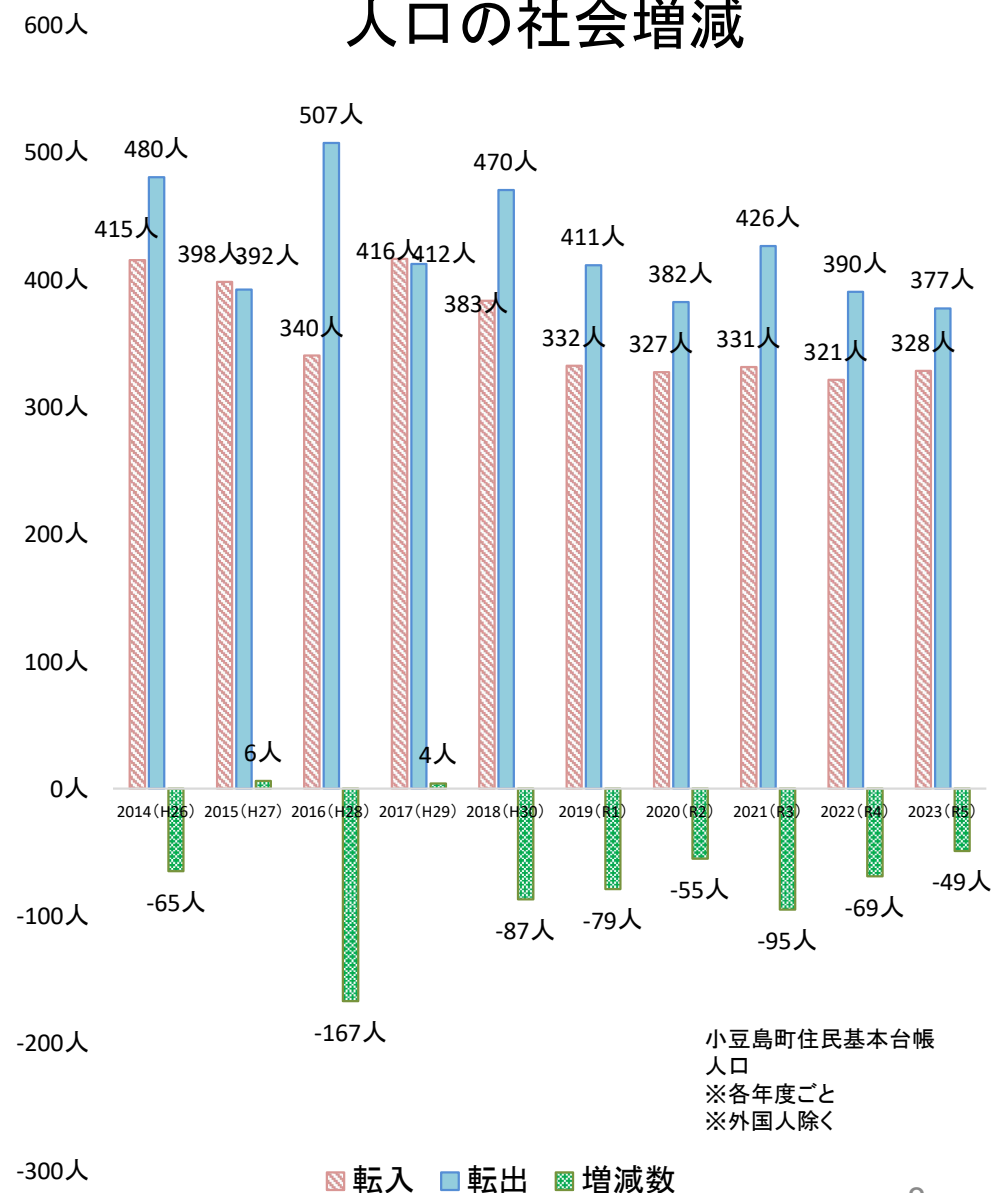
小豆島町人口の現状分析【人口動態】

人口の自然増減

令和6年
出生予想
数 **38人**

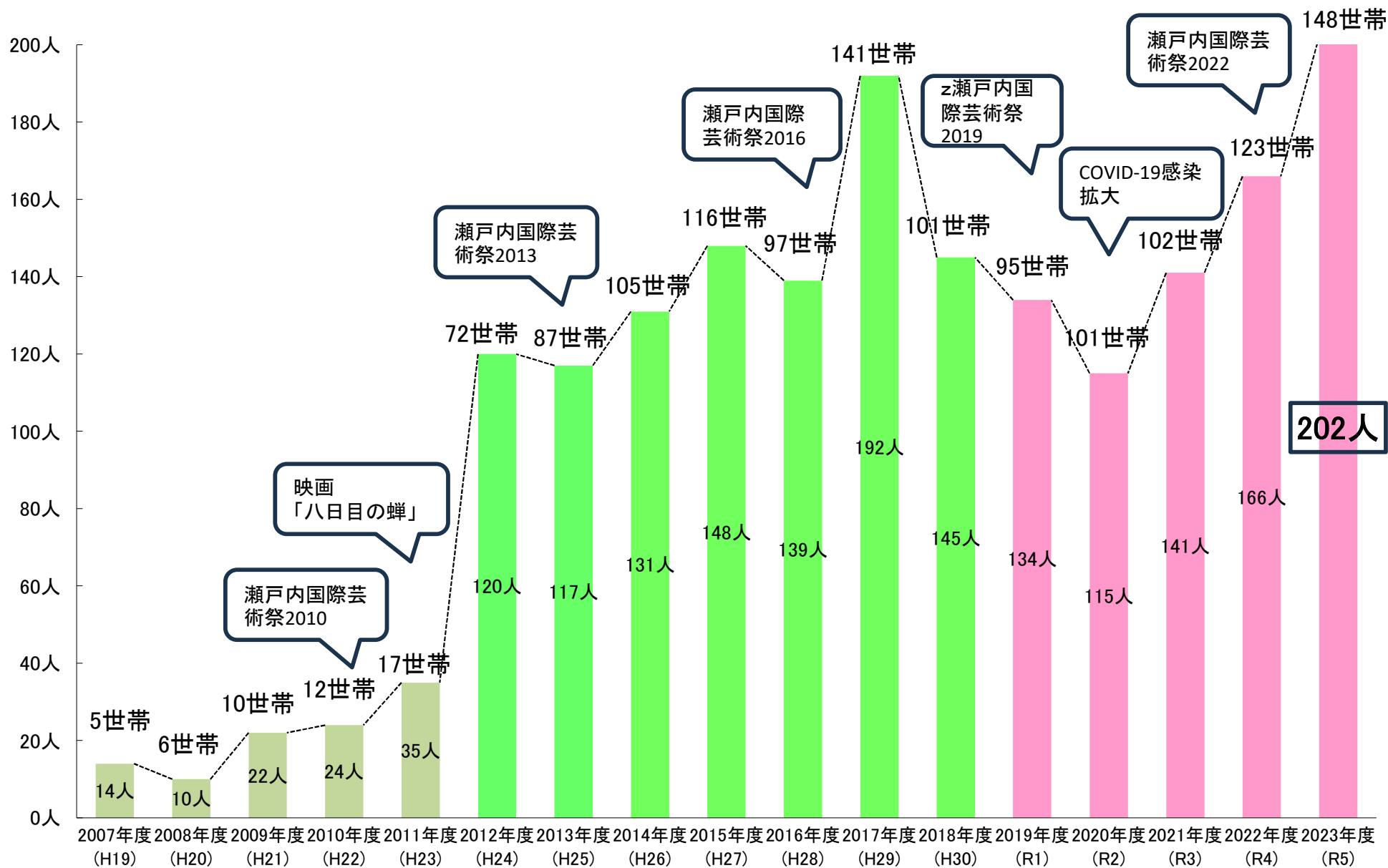


人口の社会増減



小豆島町住民基本台帳
人口
※各年度ごと
※外国人除く

小豆島町人口の現状分析【IJターン者数の推移】



事業開始の背景ときっかけ

人口減少と超高齢化社会の進展などにより、地域産業の低迷、担い手不足が顕在化

町独自の創業支援制度の課題



①補助金の上限額が300万円(財源:町税等)

施設整備が必要となる創業にとって

適正な規模とは言えない

②島内での独創性を重視する要件設定

同一分野での創業が困難で、横展開ができない。

・民間事業者や地域金融機関からの声により、
総務省

⇒「ローカル10,000プロジェクト」

の活用へ

地域経済の活性化と持続可能な事業化を
推進

活用の4つのメリット

01

地域資源の再評価と活用

02

担い手の創出と定着

03

行政と民間の協働モデル

04

地域内経済循環の拡大

小豆島町の取組内容

ローカル10,000プロジェクト

の6つの要件

① 地域の資源を活用する事業

② 地域金融機関からの融資

③ 新規事業の立ち上げ

④ 地域の新たな雇用創出に期待できる事業

⑤ 地域課題の解決につながる事業

⑥ 新規性・モデル性が感じられる事業



民間事業者、金融機関、町及び関連団体間で「**地域の資源**」
「**地域課題の解決**」の視点を重点的に、密接な関係性の構築

小豆島町の強み

小さな自治体ならではの 共通意識

☞ 事業者、金融機関、自治体は、地域資源や地域課題について共通意識がある。

顔の見える関係性を活かした 横連携

☞ 町及び関係団体（観光協会、商工会等）からの迅速な意見聴取や多様な人材の顔の見える関係性、横断的な連携を図り、計画の磨き上げに参画している。

創業を志す 機運

☞ 400年超の歴史を誇る素麺、醤油、石材業のほか、オリーブや佃煮など、先人達が様々な分野に果敢に取り組んできた「進取の気概」を持つ町民性を兼ね備えている。

聞取内容

- ・事業内容
- ・融資条件
- ・補助金条件説明

- ・行政
(関係各課担当者同席)
- ・金融機関
- ・事業者

予算要求：町長方針として、地場産業の再興を目指し、企業や団体の事業活動を引き出すことを重点としているため、次年度当初予算として、新規相談者分を計上し、過分については補正予算対応。

4月

4月

6月

6月末

事業者
初期相談

三者面談

実施計画書
提出(町へ)

総務省
事前相談

事業内容聞き取り



補助金案内



早々に事業者と
融資先地銀と調整

補助事業全体説明



事業計画書等の
作成・提出依頼

実施計画書
フィードバック
(町→事業者・地銀)



新規事業に関連する
情報の提供
(町→事業者・地銀)



再提出(町へ)

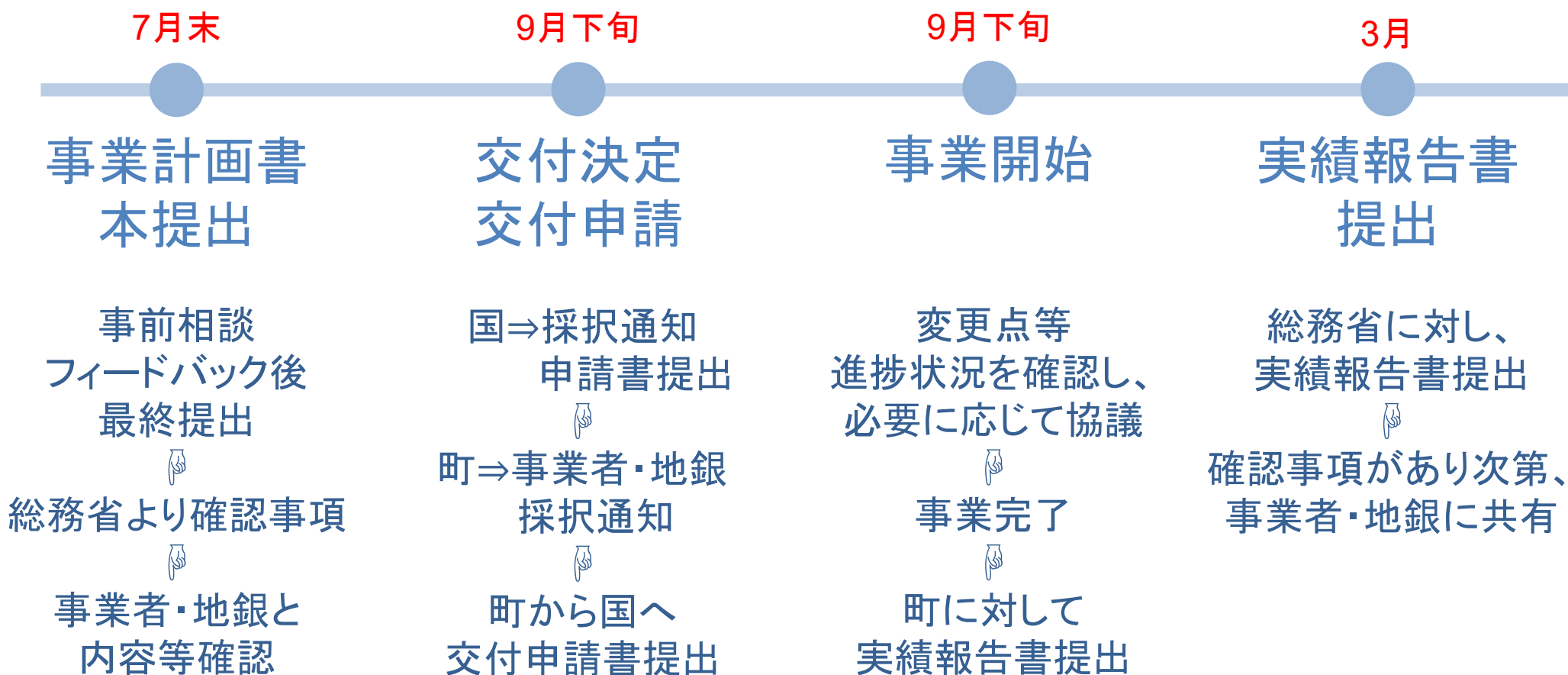
計画書提出



総務省との書類確認



指摘事項を事業者・
地銀に共有、確認



小豆島坂手港再興に向けた 宇宙船ホテルプロジェクト

(補正予算対応)

瀬戸の浜ビーチ&リゾート 宇宙船型ホテル



ローカル10,000プロジェクト 香川県小豆郡小豆島町 「小豆島坂手港再興に向けた宇宙船ホテルプロジェクト」

令和6年度8月申請

【事業背景】

- コロナ禍以降、マリナクティビティが楽しめる環境にありながら活気が失われているビーチとその近隣の遊休地が数多く存在している。
- 2025年春に坂手ポートターミナル「さかてらす」完成予定。来訪者の増加が見込まれる中で宿泊の受入体制が不足している。
- 近年ではペット同伴の旅行者希望者が多数いるものの、ペットと宿泊できる施設は少ない。

【事業実施者】 株式会社J-REX

【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：22,000千円
- 国費（地域経済循環創造事業交付金）：14,666千円
- 地方費：7,334千円
- 中国銀行による融資：22,000千円
- 【初期投資】コンテナハウス設置費、客室備品費、人工芝設置費

【取組内容】

○コンテナホテルの運営

建設工事の必要がなく、低コストで移設可能な「宇宙船型コンテナホテル」を遊休地に設置。国内外を問わず、ペット連れの旅行者も宿泊可能なホテルの運営を行う。

○オプションツアー

宿泊施設横のビーチ「瀬戸の浜」を活かしたマリナクティビティや周辺の事業者と連携した観光施設巡りを企画。旅行者の長期滞在を促し、地域経済の活性化を図る。



瀬戸の浜



外観イメージ



内観イメージ



【地域への貢献】

- 宿泊施設を設置することで坂手港を中心とした周辺施設の利用促進に繋がる。
- 現在は利用されていない遊休地やビーチを有効活用することで小豆島の魅力を伝え、観光地としての価値向上に繋がる。
- 地域の人材雇用に繋がる。

総事業費 44,607千円

○小豆島坂手港再興に向けた宇宙船ホテルプロジェクト

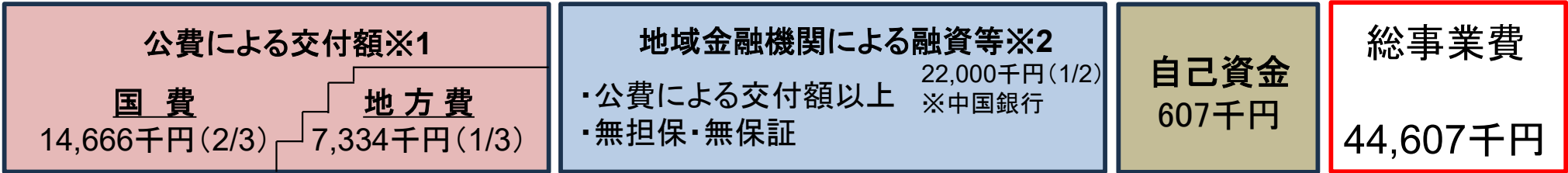
事業スキーム

支援対象

民間事業者等の初期投資費用

- ・地域資源を生かした持続可能な事業
- ・行政による地域課題への対応の代替となる事業
- ・高い新規性・モデル性がある事業

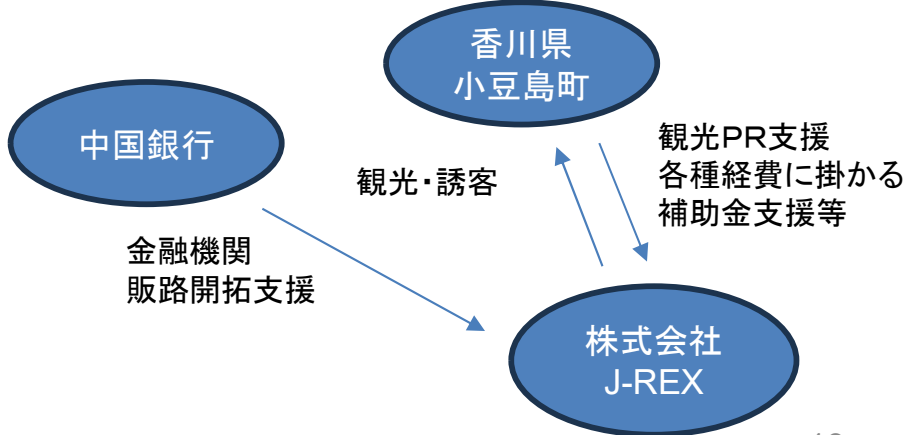
対象経費は、
・施設整備費
・機械装置費



※1 上限2,500万円。融資額(又は出資額)が公費による交付額の1.5倍以上2倍未満の場合は、上限3,500万円。2倍以上の場合は、上限5,000万円
 ※2 地域金融機関による融資のほかに、地域活性化のためのファンド等による出資を受ける事業も対象

事業内容

・コンテナホテル 44,607千円



オリジナルコーヒーと日本酒の提供を通じ、
移住者を含めた地域コミュニティを
形成・活発化させる事業

(補正予算対応)

有限会社 内海電工





【事業背景】

- 小豆島町の人口減少を起因として、地域経済の縮小、地域産業の衰退、労働人口の減少、地域活力の低下といった課題が生じている。
- 定住・交流のまちを目指して「つながり・交流」への取組みを強化し、観光振興や交流人口・関係人口を拡大が重要である。
- コロナを機に地方への移住や働き方に対する関心が高まったこと、社内に珈琲や日本酒、移住に関する知識を有する人材が揃っている。

【事業実施者】 有限会社内海電工

【自治体・金融機関の支援内容】

○公費による交付額：2,670千円

国費（地域経済循環創造事業交付金）：1,780千円

地方費：890千円

○香川銀行による融資：2,670千円

【初期投資】

焙煎機、店舗改装費、店舗インテリア、備品等

【取組内容】

小豆島産の未利用果実等を利用した特別感のあるコーヒーや福島の蔵人が厳選した日本酒を提供するカフェを開業し、以下の事業を実施。

①店内飲食

- ・店内での飲食提供（珈琲、日本酒、自家製焼き菓子等）
- ・小豆島産フルーツの活用やスペシャルティコーヒーで差別化

②珈琲豆卸販売（EC販売含む）

- ・店頭やネットでの珈琲豆販売及びホテルや飲食店への豆卸売り

③イベント実施

- ・音楽イベントや地域高齢者との交流イベントの開催



店内イメージ



店内イメージ



【地域への貢献】

- 移住者の立場を理解している当社が地域住民向けのイベントの開催等、移住者と地元住民の交流の機会を提供することで、移住者の増加及び定住率の向上が期待できる。
- 観光客が多い地域の飲食店が少ないという課題を解決する取組であり、観光満足度の向上に繋がる。
- エアードライした果物を使用することで、旬ではない時期、生食では出回らない時期にも果物を使用した商品の提供が可能となり、小豆島農産物のブランド化、地域農家の収入改善に寄与することができる。

総事業費 5,344千円

○オリジナルコーヒーと日本酒の提供を通じ、移住者を含めた地域コミュニティを形成・活発化させる事業

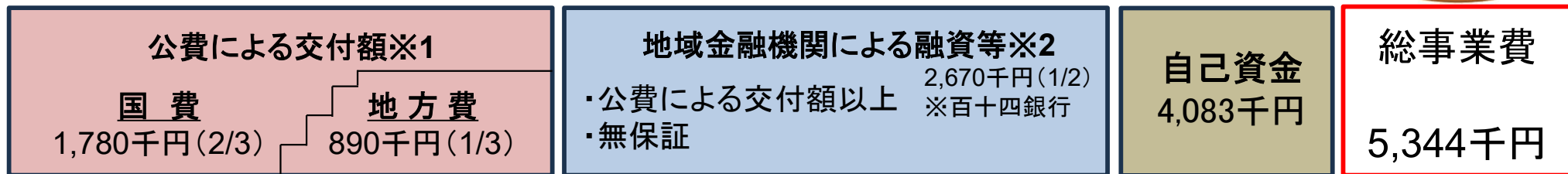
事業スキーム

支援対象

民間事業者等の初期投資費用

- ・地域資源を生かした持続可能な事業
- ・行政による地域課題への対応の代替となる事業
- ・高い新規性・モデル性がある事業

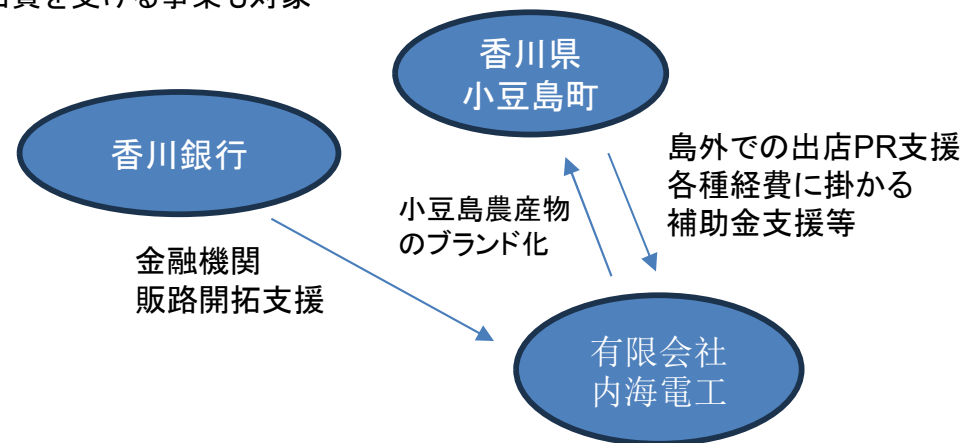
対象経費は、
 ・施設整備費
 ・機械装置費
 ・備品費



※1 上限2,500万円。融資額(又は出資額)が公費による交付額の1.5倍以上2倍未満の場合は、上限3,500万円。2倍以上の場合は、上限5,000万円
 ※2 地域金融機関による融資のほかに、地域活性化のためのファンド等による出資を受ける事業も対象

事業内容

- ・民泊施設改修工事 2,200千円
- ・機械購入費 2,832千円
- ・備品費 312千円



歴史ある寺院の観光資源化及び
小豆島ならではの子育て支援による
地域活性化計画
(当初予算対応)

社会福祉法人清見福祉協会





ローカル10,000プロジェクト 香川県小豆島町

令和6年度4月申請

歴史ある寺院の観光資源化及び小豆島ならではの子育て支援による地域活性化計画

【事業背景】

- 小豆島町の人口減少を起因として、地域経済の縮小、地域産業の衰退、労働人口の減少、地域活力の低下といった課題が生じている。
- 「子育て・人づくり」や「つながり・交流」を強化して、観光振興や交流人口・関係人口を拡大することが重要事項となっている。
- 小豆島内に保育園やこども園等の子育て支援事業を展開しているだけでなく、観光資源になり得る寺院も有していることから、上記地域課題の解決に繋がられるリソースがある。

【事業実施者】 社会福祉法人清見福祉協会

【自治体・金融機関の支援内容】

○公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：6,640千円

地方費：3,320千円

○香川銀行による融資：10,000千円

【初期投資】

寺務所・宿舎・土蔵・トイレ改修、本堂建具等調整、民泊施設整備費用

【取組内容】

①惣菜製造販売

・寮キッチンを改装して地域住民（保護者層及び檀家等高齢者世帯）向けに総菜の製造販売を行う。

②保育園留学サービス

・遊休寺務所を改装して宿泊施設を整備し、県外の子育て世代等に保育園留学サービスを提供する。

③寺カフェのオープン

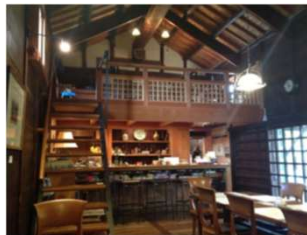
・これまでは参拝客や観光客向けに不定期でテイクアウト専門カフェとして営業してきたが、寺や蔵を改装してイートインカフェを開始する



事業①イメージ



事業②イメージ



事業③イメージ

【地域への貢献】

- 多くの有用な資源を有する当地において、観光だけに留まらず、移住希望者のニーズに応じたまちづくりを行う点、また域外からの誘客だけでなく、地域住民もターゲットにした事業も合わせて行うことで、地域への流入促進と流出抑制を実現する可能性がある。
- 本件は、周辺の商店や飲食店への集客効果も期待される。小豆島における主要観光地が多くある南側のエリアと、主要観光地である寒霞渓を繋ぐルート上にあるため、観光客が立ち寄りやすく、周辺地域一体での経済効果が期待される。

総事業費 19,979千円

○歴史ある寺院の観光資源化及び小豆島ならではの子育て支援による地域活性化計画

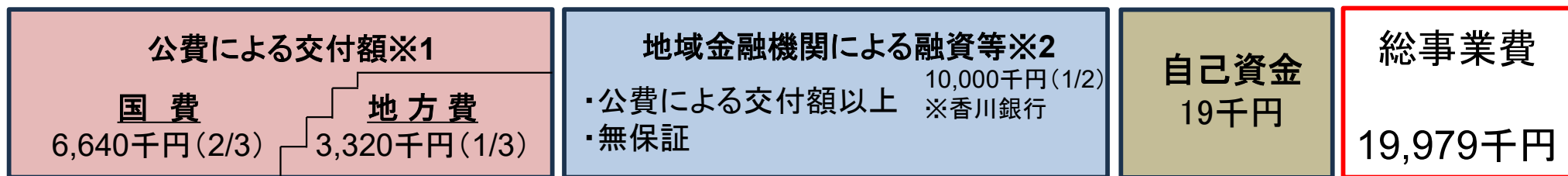
事業スキーム

支援対象

民間事業者等の初期投資費用

- ・地域資源を生かした持続可能な事業
- ・行政による地域課題への対応の代替となる事業
- ・高い新規性・モデル性がある事業

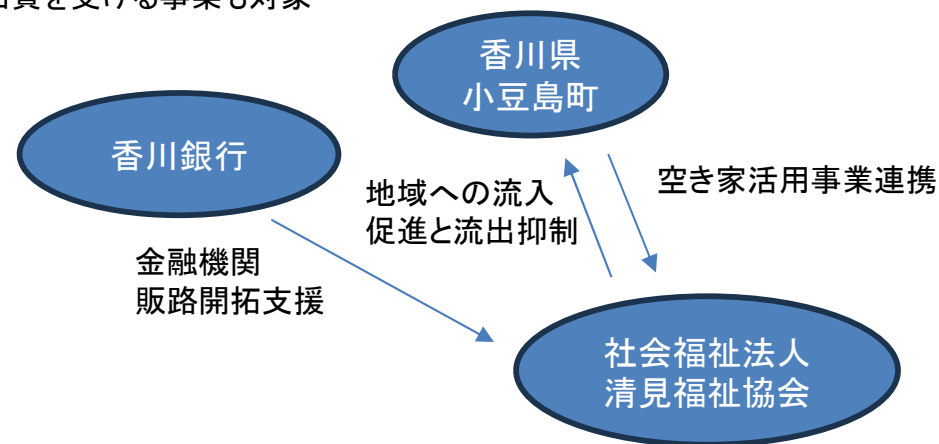
対象経費は、
・施設整備費
・機械装置費



※1 上限2,500万円。融資額(又は出資額)が公費による交付額の1.5倍以上2倍未満の場合は、上限3,500万円。2倍以上の場合は、上限5,000万円
 ※2 地域金融機関による融資のほかに、地域活性化のためのファンド等による出資を受ける事業も対象

事業内容

- ・改修工事 14,000千円
- ・機械購入費 5,979千円





ご清聴ありがとうございました